

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	諸島地区高齢者等渡航費補助事業		コード	担当課係	市民福祉課福祉係
			02-01-04-10	担当者	藤原弘章
事業実施期間	平成12年～		電話	72-1104	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり			
	中項目	やさしさあふれるまちづくり			
	小項目	高齢者福祉			
	施策	生活支援サービスの充実			

事業について	
目的	離島の高齢者等の介護支援及び外出を促進する
対象(誰のために)	備前市日生町の諸島地区に居住する満65歳以上の方、身体障害者1級、2級、療育手帳Aの交付を受けている方で居宅介護訪問通所系サービス及び短期入所サービスを受けるため、市内の一般旅客定期航路船並びにフェリー船を利用する方
内容	対象者の方が市内の一般旅客定期航路船並びにフェリー船を利用する場合に、その渡航費の一部を1箇月2回まで助成する

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
交付件数	31 件		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源		
	直接事業費	240	国庫補助金等	直接事業費		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	352	受益者負担	人件費		人件費		受益者負担	
	市債		市債		市債		市債		
合計	592	一般財源等	592	合計	0	一般財源等	0	合計	0

必要人員	0.04	人		人
結果指標名	交付件数			
結果指標量	31			
単位	件			
対前年比	—			
事業費	592,000	円		円
単位当たりコスト①	19,097	円		円

結果指標名	交付件数			
結果指標量	31			
単位	件			
対前年比	—			
事業費		円		円
単位当たりコスト②		円		円

事業の成果	
成果指標名	交付件数が多いということが、この事業の成果に結びつかないため成果指標は設定しない
式又は説明	
17年度	
成果指標量	
対前年比	—
到達目標値	到達目標年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等:
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	
コメント	離島で暮らす高齢者等が介護サービスなどを利用する時不利益が生じないようにするための助成事業であり、この事業の継続はやむを得ない
評価区分	<A~E>
	B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

この事業により離島の高齢者等が居宅介護訪問通所系サービス及び短期入所サービスが利用しやすくなっており、離島で暮らす不利益解消に役立っている

助成回数は1箇月に2回までとして制限をかけている

離島の高齢者等へ対する補助事業については成果に結びつかない